

## 適切な管理で農作業道具長持ち!

冬になると、農作業もひと段落です。

忙しくなる春に向けて、農作業道具を手入れしておきましょう。

### 【刈払い機】

#### 手入れ

① 片付ける前に、燃料を抜いてタンクを空にするようにします。燃料は専用の携行缶に入れてください。



② エンジンをかけて低速運転し、完全に止まるまでキャブレータ内の燃料を燃焼させます。燃料を入れたままにすると中で劣化して、故障の原因となります場合があります。



③ 刈刃の状態を確かめましょう。チップが5つ以上欠けていたら、刃の交換のサインです。ヒビの入っているもの、割れているものは危険なため、使用しないでください。

④ 点火プラグの点検も行ってください。電極の隙間は、はがき3枚分くらいが適正です。広すぎたり、狭すぎたりする場合は調整してください。汚れている場合は、ワイヤブラシなどで清掃してから取り付けてください。電極の磨耗がひどかったり焦げているようであれば、新品に交換してください。

#### 保管方法

抜き取った燃料は、日陰で保管してください。混合油は、1ヶ月程度の間は再使用できます。本体の刃には、専用の刈刃カバーを取り付け、涼しい場所で保管しましょう。



刈刃カバーを付けた状態

磨耗したプラグ

焦げたプラグ

良好なプラグ

### 【鍬】

#### 手入れ

刃についた汚れは水洗いし、きちんと落とすようにしましょう。濡れたままだと錆び付きやすくなるため、水分が残らないようしっかりと拭き取ってください。また、刃が変形していたり、ゆがみがないか確かめてください。

#### 保管方法

雨の当たらない、風通しのよい場所で、刃を上にしてつるした状態で保管してください。地面に刃が直接接すると、湿気を吸って刃が劣化する原因になるため、注意してください。また刃の部分を布やカバーで覆うと、刃が長持ちします。



このようにつるして保管しましょう!